

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,196	5.2	361	△1.6	339	1.9	200	△37.4
25年3月期第3四半期	17,293	△2.8	367	16.8	333	30.0	320	131.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 252百万円 (△32.9%) 25年3月期第3四半期 376百万円 (95.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.57	—
25年3月期第3四半期	8.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,322	2,594	7.6
25年3月期	11,664	2,763	9.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 940百万円 25年3月期 1,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	3.8	540	5.0	510	5.6	300	△28.1	8.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社西田武生デザイン事務所、除外 1社 (社名) タケオニシダ・ジャパン株式会社
(注)詳細は、5ページ、2.サマリー情報(注記事項)に関する事項「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	34,497,058 株	25年3月期	34,497,058 株
26年3月期3Q	15,966 株	25年3月期	15,966 株
26年3月期3Q	34,481,092 株	25年3月期3Q	34,481,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、2ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報」「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、決算補足説明資料を速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の回復が見られ、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で消費税引上げに伴う消費マインド減退への懸念や原材料価格の上昇等、国内景気の下振れ懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する業界におきましては、高額消費に明るさはあるものの、生活必需品に対する節約志向の継続、価格競争など業種業態を超えた販売競争の激化など、依然として厳しい状況で推移いたしました。

そのような状況のもと、当社グループでは、従来より推進しております「ソフトと価値の提供」をテーマとした商品以外のサービス・満足の提供を目指した施策に加え、人財育成と採用の強化、他社との提携の推進、好調事業の拡大・強化に努めてまいりました。

好調事業の拡大・強化策としては、平成25年4月1日付で、関東・九州地区を中心に和装用品専門店24店舗を展開する株式会社ら・たんす山野の株式を取得し連結子会社といたしました。

また、当社は、平成25年10月1日付で管理コストの削減と資金管理の効率化等を図るため、株式会社ら・たんす山野を吸収合併いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は181億96百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。利益面では、子会社株式の取得によるのれん償却費の発生や、平成25年9月26日付シンジケートローン契約締結によるアレンジメントフィー等を営業外費用に計上したことに伴う減益影響はありましたが、営業利益は3億61百万円（前年同四半期比1.6%減）、経常利益は3億39百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。四半期純利益については、子会社の固定資産売却に関連した減損損失を計上したことや前年同四半期の法人税等の更正、決定等による還付税額がなくなったことなどにより、2億円（前年同四半期比37.4%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、平成25年4月1日付のグループ内の組織再編に伴い、セグメントの管理区分を見直したことにより、記載する事業セグメント区分の変更又は名称の変更を行っております。前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

1) 「美容事業」

美容事業につきましては、競合店の増加傾向が継続していることに加えてサービスメニューの多様化など、他社との差別化が困難である状況のもと、ターゲットを明確化した店舗設計である「ファミリーサロン」「アンチエイジングサロン」への店舗改修や、スタイリストの技術力向上のための講習プログラムの策定・実施を推進しております。

店舗展開におきましては、商圈や来店客動向の検証に基づいた既存店舗のスクラップ・アンド・ビルドとして、「ファミリーサロン」へのリニューアルを1店舗、「アンチエイジングサロン」へのリニューアルを7店舗実施、8店舗の閉店・統合を実施いたしました。この結果、平成25年12月31日現在の店舗数は、直営110店舗、FC6店舗となっております。

また人財育成強化策として、学校法人山野学苑「山野美容芸術短期大学」との連携によるプロフェッショナルスタイリスト向け講習プログラムを策定し、スタートいたしました。更に、和装・アパレル事業と連携して着付技術取得者の増員・強化を図り、着付けサービスを積極的に展開して需要を喚起しました。この結果、浴衣着付けサービスの獲得件数は前年同期比で214%、成人式着付けサービスの予約獲得件数は前年同期比で139%と伸長いたしました。

この結果、店舗数減少の影響等があり、売上高は20億80百万円（前年同四半期比4.0%減）となり、セグメント利益は1億15百万円（前年同四半期比17.5%減）となりました。

2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては、専門店ならではの商品提案力強化、体験サービスイベントの開催、他社とのサービス提携等を積極的に推進しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、4店舗のリニューアルを実施し、昨今の健康志向の高まりに対応するべく、美と健康をテーマにした「ヘルス&ビューティ部門」の売場拡充を図っております。なお、平成25年12月31日現在の店舗数は18店舗となっております。

他社とのコラボとして、広島県下に200万人超の会員様を有する株式会社和多利の「Wポイントカード」とポイントサービス提携を開始し、地域顧客の利便性向上に努めるほか、昨年引き続きクルートライフスタイル主催「雪マジ19」タイアップ企画を実施するなど、若年層の顧客獲得にも努めております。

また、山陰エリアで初のウィンター大型催事を島根県松江市で開催、計画を大きく上回る来客数となりました。

しかしながら、店舗におけるウィンター商戦立ち上りの売上げが伸び悩んだこと等により、スポーツ事業の売上高は31億38百万円（前年同四半期比1.8%減）となり、セグメント利益38百万円（前年同四半期比33.0%減）となりました。

3) 「DSM事業」

DSM事業につきましては、ミシン点検サービスや布団の丸洗いクリーニングなどのサービス機能を拡充し、催事集客強化による販売施策を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、大型催事である「きものパーティ」や、ミシンによる物づくりの場「ミシンフェア」など、お買い物以外の顧客ニーズに応える催事を継続的に開催する一方で、買い物の場が減少してしまった地方の顧客に対して、各ショップにて洋装品を中心にしたトータルファッションのミニ展示会を積極的に開催し、商品提案の場を広げる施策を行っております。

また、事業所の統廃合を要因とした販売員減少に対応するため、販売員紹介キャンペーンを実施しているほか、統合ショップでのナレッジ共有を推進しており、訪問販売から催事への集客販売への移行を図るなど、売上高の確保と収益力向上に努めております。なお、平成25年12月31日現在の店舗数は83店舗となっております。

この結果、DSM事業の売上高は23億68百万円（前年同四半期比8.5%減）となり、セグメント利益87百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

4) 「和装・アパレル事業」

「和装・アパレル事業」は、セグメント区分の変更及び名称の変更を行っております。

当社グループの和装・アパレル小売事業の効率化・強化を図るため、卸売事業に含まれていた洋装小売部門を和装事業へ移管し、セグメント区分の変更を行ったことに伴い、セグメント名称を「和装事業」から「和装・アパレル事業」へ変更しております。

当第3四半期連結累計期間においては、和装小売店舗を展開する株式会社ら・たんす山野の株式を取得し連結子会社化、また1店舗の新規出店を実施し、業容拡大を図っております。

また、平成25年4月1日付グループ内再編によりアパレル小売店舗を卸売事業から移管、店舗運営及び人財採用・育成のノウハウを集約することにより、小売店舗事業の管理効率化を推進しております。この結果、平成25年12月31日現在の店舗数は、和装小売店舗が64店舗、アパレル小売店舗が10店舗となっております。

また人財育成策として、各店舗での販売力向上及び平準化を目指した「ステップアップガイドライン」を導入したほか、着物加工工場の見学や、山野美容芸術短期大学内施設である茶室「愛治庵」を活用した茶道を通じたマナー研修など、接客技術の向上に取り組んでおります。

この結果、和装・アパレル事業の売上高は40億61百万円（前年同四半期比72.0%増）となり、セグメント利益1億57百万円（前年同四半期比68.6%増）となりました。

5) 「卸売事業」

「卸売事業」は、セグメント区分の変更を行っております。

洋装小売店舗部門を和装・洋装事業へ移管しております。

卸売事業につきましては、百貨店における売場コーナー化の推進に向けた施策を実施しております。当第3四半期連結累計期間においては、タケオニシダの新ブランド「LADY NISHIDA」の直営店を新規出店し、ブランドビジネスの拡大を推進しております。なお、平成25年12月31日現在のタケオニシダ直営店の店舗数は18店舗となっております。

この結果、卸売事業の売上高は50億48百万円（前年同四半期比9.8%減）となり、セグメント利益13百万円（前年同四半期比73.6%減）となりました。

6) 「宝飾事業」

宝飾事業につきましては、店外大型催事への参加や店頭催事の絞込みなど事業効率の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、店外大型催事の参加店増などにより売上高の確保に努めてまいりました。平成25年12月31日現在の店舗数は、2店舗閉鎖し28店舗となっております。

この結果、宝飾事業の売上高は、委託販売契約から買取販売契約への変更等もあり、11億4百万円（前年同四半期比23.3%増）となり、セグメント損失3百万円（前年同四半期はセグメント利益1百万円）となりました。

7) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、株式会社西田武生デザイン事務所のブランド事業、かねもり事業部の代理店を通じた呉服等を中心とした催事販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、連結子会社の皇家科世夢股份有限公司の事業譲渡等により、3億94百万円（前年同四半期比19.9%減）となり、セグメント損失14百万円（前年同四半期はセグメント損失23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億58百万円増加し123億22百万円となりました。これは、主に流動資産においては受取手形及び売掛金が99百万円増加、商品及び製品が6億1百万円増加、のれんが46百万円増加し、建物及び構築物79百万円及び土地93百万円が減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ8億27百万円増加し97億28百万円となりました。これは、主に短期借入金19億48百万円減少、未払法人税等1億12百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が10億27百万円増加、前受金2億33百万円増加、長期借入金が16億78百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1億68百万円減少し25億94百万円となりました。これは、主にこれは主に剰余金の配当46百万円、優先株式（自己株式）の消却3億19百万円、四半期純利益2億円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年5月15日付「平成25年3月期決算短信」にて公表した内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、従来、連結子会社であったタケオニシダ・ジャパン株式会社は、平成25年4月1日付で連結子会社の堀田丸正株式会社を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。

また、平成25年4月1日付で株式取得した株式会社ら・たんす山野を平成25年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。

また、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社である堀田丸正株式会社が平成25年10月1日付で株式を取得した株式会社西田武生デザイン事務所を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,411,013	2,368,902
受取手形及び売掛金	2,714,594	2,814,314
商品及び製品	2,737,735	3,339,524
仕掛品	17,595	23,772
原材料及び貯蔵品	53,174	81,676
繰延税金資産	47,122	47,122
その他	248,813	289,120
貸倒引当金	△89,446	△76,694
流動資産合計	8,140,604	8,887,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,777,418	1,676,087
減価償却累計額	△1,176,935	△1,154,922
建物及び構築物(純額)	600,482	521,165
機械装置及び運搬具	32,720	23,900
減価償却累計額	△31,662	△23,404
機械装置及び運搬具(純額)	1,057	495
工具、器具及び備品	628,636	630,245
減価償却累計額	△584,535	△590,243
工具、器具及び備品(純額)	44,100	40,001
土地	831,413	737,821
リース資産	26,707	35,131
減価償却累計額	△9,443	△13,973
リース資産(純額)	17,263	21,157
建設仮勘定	—	5,198
有形固定資産合計	1,494,318	1,325,840
無形固定資産		
のれん	193,450	232,934
その他	57,198	96,309
無形固定資産合計	250,648	329,244
投資その他の資産		
投資有価証券	137,892	161,800
長期貸付金	46,209	13,668
敷金及び保証金	1,446,787	1,450,140
その他	414,079	393,676
貸倒引当金	△266,140	△239,301
投資その他の資産合計	1,778,828	1,779,985
固定資産合計	3,523,794	3,435,069
資産合計	11,664,399	12,322,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,557,168	4,584,534
短期借入金	2,095,423	147,000
1年内返済予定の長期借入金	111,324	256,920
未払金	744,578	672,568
前受金	973,729	1,206,872
未払法人税等	142,437	29,616
賞与引当金	13,600	7,421
返品調整引当金	15,139	10,638
ポイント引当金	57,529	56,325
株主優待引当金	2,327	2,327
その他	517,346	367,896
流動負債合計	8,230,603	7,342,121
固定負債		
長期借入金	169,780	1,847,960
長期未払金	257,438	245,423
繰延税金負債	9,599	18,645
資産除去債務	166,396	175,539
負ののれん	6,582	824
その他	60,866	98,127
固定負債合計	670,662	2,386,519
負債合計	8,901,265	9,728,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,565	100,000
資本剰余金	156,825	1,259
利益剰余金	720,134	865,366
自己株式	△3,019	△3,019
株主資本合計	1,129,505	963,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,824	15,620
為替換算調整勘定	△52,365	△38,877
その他の包括利益累計額合計	△44,540	△23,256
少数株主持分	1,678,168	1,653,817
純資産合計	2,763,133	2,594,167
負債純資産合計	11,664,399	12,322,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	17,293,968	18,196,391
売上原価	10,323,197	10,750,401
売上総利益	6,970,770	7,445,990
販売費及び一般管理費	6,603,456	7,084,427
営業利益	367,314	361,563
営業外収益		
受取利息	5,102	4,625
受取地代家賃	14,768	13,120
協賛金収入	8,041	7,709
負ののれん償却額	5,983	5,838
その他	48,459	46,141
営業外収益合計	82,356	77,435
営業外費用		
支払利息	71,227	48,986
手形売却損	916	1,183
貸倒引当金繰入額	23,076	—
支払手数料	—	26,628
その他	20,983	22,363
営業外費用合計	116,204	99,162
経常利益	333,466	339,836
特別利益		
固定資産売却益	135	79
投資有価証券売却益	999	—
関係会社株式売却益	21,700	—
貸倒引当金戻入額	61,105	—
その他	10,781	—
特別利益合計	94,721	79
特別損失		
固定資産売却損	1,547	873
固定資産除却損	9,195	6,772
減損損失	8,083	40,901
投資有価証券評価損	4,402	537
店舗閉鎖損失	9,128	6,951
アドバイザリー手数料	23,057	—
その他	22,695	12,557
特別損失合計	78,109	68,594
税金等調整前四半期純利益	350,078	271,321
法人税、住民税及び事業税	94,882	51,373
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△113,738	—
法人税等合計	△18,855	51,373
少数株主損益調整前四半期純利益	368,934	219,947
少数株主利益	48,333	19,222
四半期純利益	320,600	200,725

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	368,934	219,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,089	13,965
為替換算調整勘定	4,199	18,690
その他の包括利益合計	7,289	32,655
四半期包括利益	376,223	252,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,954	222,010
少数株主に係る四半期包括利益	50,268	30,593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年6月27日開催の定時株主総会決議により、平成25年8月1日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えております。この結果、資本金が155,565千円、資本準備金が155,565千円減少いたしました。

また、平成25年8月21日開催の取締役会において、A種優先株式の全株式(1株)及び平成25年10月17日開催の取締役会において、B種優先株式の全株式(1株)を取得及び消却することを決議し、以下のとおり実行いたしました。

(1) A種優先株式

- ① 取得及び消却した株式の数 1株
- ② 株式の取得価額 1株につき102,506,849円
- ③ 取得及び消却した日 平成25年9月30日

(2) B種優先株式

- ① 取得及び消却した株式の数 1株
- ② 株式の取得価額 1株につき217,320,612円
- ③ 取得及び消却した日 平成25年10月31日

以上により、当第3四半期会計期間末においては、資本金が100,000千円、資本剰余金が1,259千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装・アパレル	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	2,165,696	3,194,703	2,589,912	2,361,225	5,594,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	91,465
計	2,165,696	3,194,703	2,589,912	2,361,225	5,685,815
セグメント利益又は損失(△)	139,603	57,304	101,636	93,355	52,774

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	895,723	16,801,611	492,357	17,293,968	—	17,293,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	91,465	20,036	111,502	△111,502	—
計	895,723	16,893,077	512,393	17,405,470	△111,502	17,293,968
セグメント利益又は損失(△)	1,139	445,814	△23,609	422,205	△54,890	367,314

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△54,890千円には、セグメント間取引消去428千円、のれんの償却額△14,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41,966円及び棚卸資産の調整額1,247千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装・アパレル	卸売	宝飾	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,881	—	—	183	—	—	—	6,018	8,083

(のれんの金額の重要な変動)

「美容事業」セグメントにおいて、当社が株式会社マイスタイルの株式を追加取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、219,000千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装・アパレル	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	2,080,223	3,138,830	2,368,632	4,061,228	5,048,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	89,399
計	2,080,223	3,138,830	2,368,632	4,061,228	5,137,931
セグメント利益又は損失(△)	115,215	38,408	87,738	157,398	13,927

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,104,428	17,801,875	394,516	18,196,391	—	18,196,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	89,399	24,162	113,562	△113,562	—
計	1,104,428	17,891,274	418,679	18,309,954	△113,562	18,196,391
セグメント利益又は損失(△)	△3,217	409,471	△14,511	394,960	△33,397	361,563

- (注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△33,397千円には、セグメント間取引消去2,528千円、のれんの償却額△39,566千円、各報告セグメントに配分していない全社費用730千円及び棚卸資産の調整額2,909千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装・アパレル	卸売	宝飾	その他	全社・消去	合計
減損損失	38,532	—	—	1,816	—	553	—	—	40,901

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、グループ内での事業再編により、従来「卸売事業」に区分していた洋装小売部門を「和装事業」へ移管し業績管理区分の見直しを行ったことに伴い、事業セグメントの区分の変更を行っております。また従来の「和装事業」は、名称を「和装・アパレル事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。